

世界のサクランボ市場(要約のみ抜粋)

FreshPlaza 2025年6月27日

2025年の世界のサクランボ出荷シーズンは、主要な生産国と輸出国で、生産量、品質、市場状況が様々に異なることが特徴である。以下は、国別の主な動向の概要である。

英国では、良好な天候と新品種の出荷開始により、サクランボの出荷シーズンが通常より早く始まった。総生産量は7,850トンと推定されており、品質が高く、収穫期間は短い。

イタリア北部では果粒が大きく、価格が高く、史上最高のサクランボシーズンの1つであると報告されている。南部では悪天候による損失が発生したが、良好な品質と旺盛な需要により、全体的な収益は維持された。

スペインでは、涼しく雨の多い天候のため、サクランボの出荷シーズンが例年より遅く始まった。嵐や雹が大きな損失をもたらし、地中海沿岸地方からの供給が減少する中、価格の高騰が続いている。

ドイツでは、特にギリシャ、トルコ、イタリアからの輸入果実の価格が上昇し、国内産のサクランボが市場シェアを獲得した。ドイツの主要産地では収穫期の条件が安定しており、品質と香りが向上した。

フランスのサクランボ生産量は、2024年に比べて5%増加し、5年間の平均を12%上回り、果樹園の潜在能力の80%まで回復した。好天と安定した供給が、好調な販売の勢いを支えている。

オーストリアは引き続きトルコ、スペイン、イタリアからの輸入に依存している。シュタイアーマルク州では近年の不安定な天候の影響を受けており、品質を確保するため、保護資材を用いた栽培が増加している。

オランダでは、サクランボの収穫量は申し分なく、需要は高く、輸入品との競争は限定的である。価格は堅調に推移している。

ギリシャでは、増収の予測が、悪天候による70%を超える損失で覆された。依然として供給が不足しているため、小売価格は400%以上急騰している。

スイスでは、晴天が続いた後のタイムリーな降雨に支えられて、2,500トンの力強いサクランボの収穫を期待している。7月末まで、十分な量の品質の高いサクランボの供給が見込まれている。

北米では、カリフォルニア州と太平洋岸北西部からのサクランボの出荷が好調で、供給量が増加した。しかし、貿易関税が輸出を制限しており、小売価格は圧迫されている。

南アフリカでは、栽培面積の拡大と英国への輸出の増加により、サクランボの出荷量は9%増の3,086トンとなった。低温要求の少ない品種と良好な休眠条件に支えられて、現在、収穫量の3分の1が北部地域で生産されている。

チリでは、輸出量は大きく増加したが、その代償として収益が低下し、品質への懸念が高まった。

アルゼンチンは今シーズン、パタゴニア地方の原産地呼称を取得したサクランボに重点を置いており、安定的な輸出量が報告された。

中国では、6月上旬に米国産のサクランボが昨年より15~20%安い価格で入荷し始めた。入荷量が限られ、価格がまだ高く、需要が弱いことから、販売は低調である。

トルコでは深刻な霜害を受け、サクランボの収穫量の70~80%が影響を受け、輸出可能量が大幅に減少した。国内の需要が依然として強いいため、輸出業者はより良い価格が提示されるのを待っている。